

TAKE  
FREE

2026年 春号

vol. 89

向陽台病院の健康情報誌「こもれび」

# KOMOREBI



【病気のおはなし】

精神疾患のある患者さんにみられる誤嚥性肺炎

【部署紹介】

こころをほぐす わたしのコーピングあれこれ

【プログラム紹介】

ありがとう「なでしこ」

【リレーエッセイ】

リハビリテーション部 副主任 作業療法士 岡崎 美里

【向陽台 PICK UP】

虐待防止委員会の紹介～虐待ゼロを目指して～

【連携機関】

熊本県立こころの医療センター 院長 西 良知 先生

【院内学級ひかり】

軽やかになる

# 病気のおはなし

● 今回教えてくれた先生

診療部(医師)

ごとう よしひこ  
後藤 由比古 先生

— 症例から考える診療のポイントと多職種連携 —

## 精神疾患のある患者さんにみられる 誤嚥性肺炎



精神科では、こころの部分に重点的に焦点をあてることが多いですが、からだ▶が安全な状態かどうか▶も大切な視点です。

今回は精神科病棟で起きる誤嚥性肺炎についてのお話です。

### 精神科病棟でも起こる「誤嚥性肺炎」

精神科病棟でも、身体の病気への対応はとても大切です。その中でも誤嚥性肺炎は特に注意したい病気の一つです。

最近の研究では、精神疾患のある高齢者は、同じ年齢の方と比べて肺炎になりやすく、亡くなるリスクも高いことが分かっています。特に統合失調症や認知症の方ではその傾向が強いとされています。その理由の一つではありません。年齢とともに飲み込む力が弱くなることに加えて、

- 認知機能の低下による飲み込み・むせの反射の低下
- 低栄養や筋力低下
- 抗精神病薬による眠気や体のこわばり口の乾燥(薬の副作用)

など、いくつもの要因が重なって起こると考えられています。今回は、印象に残った2つの症例を通して、この病気の特徴と課題を考えたいと思います。

### 治療方針を決める難しさ

1人目は統合失調症の患者さんです。長い経過の中で認知機能が低下し、やせや低栄養も進んでいました。その結果、飲み込みの力が弱くなり、誤嚥性肺炎を繰り返すようになりました。高齢の統合失調症患者さんでは、薬の影響も無視できません。例えばク

ロザピンという薬は、よだれが増えたり飲み込みがうまくいなくなったりすることがあり、肺炎のリスクが高くなる可能性が指摘されています。そのため、高齢の方では特に慎重な観察が必要です。

この患者さんでは緑膿菌という菌が原因でした。重症化が懸念される状況でしたが、身寄りがなく病状の理解や意思表示が十分とは言えない状態であったため、多職種で話し合いを重ねたうえで急性期病院へ搬送しました。治療後は回復し、再び当院へ戻ってくることができました。

2人目は認知症の患者さんです。嘔吐をきっかけに誤嚥し肺炎を発症しましたが、院内での治療により改善しました。意思決定能力は低下していましたが、ご家族と相談しながら治療方針を決定することができました。

両症例に共通していたのは「自分で判断する力の低下」です。ただし、家族の有無によって治療方針の決めやすさが大きく変わることを実感しました。こうした場面では、多職種間の話し合いと倫理的な配慮が欠かせません。

### 精神疾患と感染症の関係

高齢化に伴い、誤嚥性肺炎は今後さらに増えると考えられています。また、精神疾患のある方では、インフルエンザや新型コロナなどの感染症に

## 1 研修会を行いました

### 第9回くまもと子どものこころ研修会

- 2026年3月6日(金)
- 講師：齋藤 梓 先生  
(上智大学総合人間科学部 心理学科准教授)
- 演題：「子どもの性被害事案に出会った時に、  
どのように関わり取り扱えばよいか」

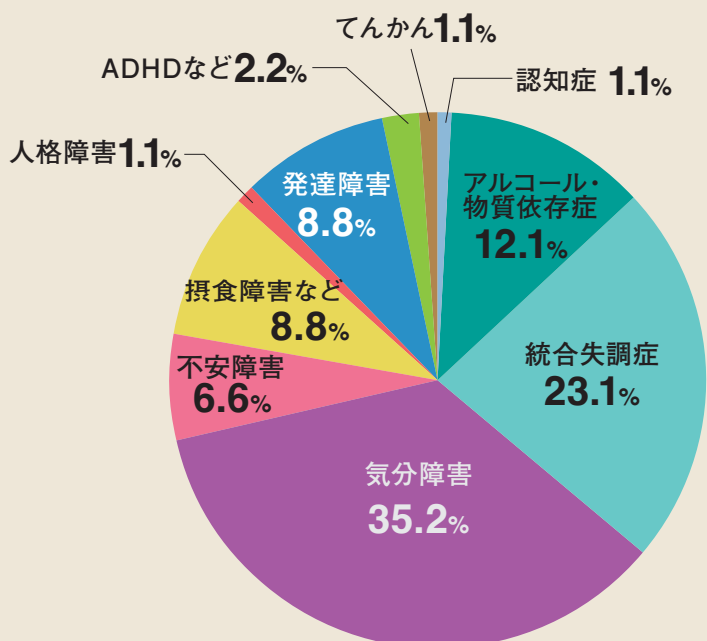
## 2 新システム導入のお知らせ

2026年4月に電子カルテの入れ替えを行います。  
操作に慣れるまで少しお待たせすることがあるかもしれませんが、より正確でスムーズな医療提供を目指しております。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 3 救急病棟の疾患別割合

(2025年12月～2026年2月)

発達障害の患者さんの割合が減り、摂食障害の患者さんの割合が増えています。



もかかりやすいことが報告されています。さらに慢性的な炎症状態(CRPやIL-6の上昇など)や免疫機能の変化がみられることがあり、感染に対する体の反応が弱くなる可能性が指摘されています。慢性的なストレス下にある高齢者では、インフルエンザワクチンの効果が十分に出にくいという報告もあり、精神疾患のある方では、感染予防そのものが難しくなる場合があります。体調不良や息苦しさをうまく伝えられないことや、周囲が変化に気づきにくいこともあり、診断が遅れる原因になることがあります。

### 誤嚥を防ぐための多職種連携

誤嚥性肺炎を防ぐには、多くの職種の連携が欠かせません。

- 医師：全身状態の管理や薬の調整
- 看護師：日常の観察や食事介助
- 言語聴覚士：嚥下評価や訓練
- 理学療法士・作業療法士：姿勢や身体機能の維持
- 管理栄養士：栄養状態の評価や食事形態の調整
- 薬剤師：薬の飲み合わせや副作用の確認、眠気や飲み込みに影響する薬の見直し

それぞれの専門性が、誤嚥の予防や生活の質の維持につながります。

精神疾患を背景にもつ患者さんの誤嚥性肺炎は、身体の問題だけでなく、精神症状や生活環境とも深く関わっています。日々の診療で得た気づきや工夫を共有し、多職種で支えることが、安全で質の高い医療につながると考えています。

## [部署紹介]

# こころをほぐす わたしのコーピングあれこれ

「コーピング」ということばを聞いたことはありますか？ コーピングとは、アメリカの心理学者ラザルス博士が提唱した概念で、「ストレスを和らげるために意図的に対処すること」を意味します。例えば、家族とケンカしてイライラしたので(=ストレス反応)、友だちに電話して話を聞いてもらう(=対処)、といった具合です。「意図的な自分助け」と言い換えることもできます。向陽台病院の治療プログラムや心理面接の中でも取り扱うことの多いテーマです。

そして、「しょぼいもの」でも日常で実践できる小さなコーピングをたくさん持っておくこと、「質より量！」がコーピングのポイントとされています。伊藤絵美先生(臨床心理士)は、「レパートリーを100個作ってください」と参考文献の中で述べられています。たくさんあれば状況に応じて選べるので、1つのコーピングで効果がなくても、他のコーピングを試すことができるからです。手帳やスマホのメモアプリにコーピングリストとして保存しておく、「ちょっとしんどい…」という時に、サッと確認して、サクッと実行できそうです。

また、お金、時間、健康、対人関係などの「コストがかからない」ものを選ぶこともコツだそうです。となると、「買い物」「アルコール」「やつあたり」などは、コスパが良いとは言いがたいですね…。

さて、今回は部署紹介コーナーですので、この機会に我が臨床心理部メンバーのコーピングあれこれをご紹介します。心理支援のプロたる心理士たちは、どんな自分助けをしているのでしょうか？ 右の図をご覧ください。




いかがでしょうか？ 何となくインドア寄りなのが我が部の特徴かもしれません。ささやかで、少々くだらないことも多いですが、そのくだらないことが「今の私」のこころをほぐし、明日を迎えることができます。精神科治療にも似たようなところがあり、まずは「今を生き抜く」ことで、少しずつ、時間はかかっても自分の症状、課題に取り組めるようになっていけるのではないのでしょうか。ささやかだけれど大切なことを、患者さんと一緒に、一所懸命に考えるのが臨床心理部のお仕事です。

参考文献：伊藤絵美(2021)『コーピングのやさしい教科書』金剛出版

## ●臨床心理部

副主任 わたなべ みほ 渡邊 美帆(臨床心理士・公認心理師)

### 臨床心理部メンバーのコーピング例

正統派	<ul style="list-style-type: none"><li>●読書(時代小説・ファンタジー・ノンフィクションなどなど)</li><li>●映画館に映画を観に行く(全てを遮断して物語に集中!)</li><li>●意味がないけれど笑えるラジオ番組をきく</li></ul> 
個性派	<ul style="list-style-type: none"><li>●やりたくないことは英語の吹き替えのマネをしながら進める</li><li>●何かの包み紙でひたすら鶴を折る</li><li>●映画「南極料理人」の伊勢海老をエビフライにするシーンを見る(とってもシュール)</li><li>●映画「シン・ゴジラ」の無人新幹線爆弾でゴジラを攻撃するシーンを見る(BGMがアガる)</li><li>●珍しい食材を置いてある八百屋で買った知らない食材を使って、食べたいものを料理して食べる</li></ul>
リラックス系	<ul style="list-style-type: none"><li>●透明のコップにティーバッグを入れて色が変わるのをぼーっとながめる</li><li>●お気に入りの入浴剤でお風呂に入る</li><li>●たくさん寝る(8~9時間くらい)</li></ul> 
リセット系	<ul style="list-style-type: none"><li>●帰宅後すぐに入浴</li><li>●家中のそうじ、洗濯をする</li></ul>
無心系	<ul style="list-style-type: none"><li>●野菜をひたすら切ってスープを作る</li><li>●音楽を聴きながら、何も考えずにひたすら歩く</li></ul> 
アクティブ系	<ul style="list-style-type: none"><li>●書類業務に煮詰まったら病棟に顔を出しに行く、など体を移動させる</li><li>●チャリチャリ(レンタル自転車)でご近所を爆走する</li></ul>
五感系	<ul style="list-style-type: none"><li>●畑の土をさわる</li><li>●剪定ばさみを研いでから剪定する</li><li>●ドリップコーヒーを淹れ、香ばしいアロマを味わう</li><li>●よい香りのハンドクリームをぬる(心理部にはスタッフが持ち寄ったハンドクリームが常備されています)</li></ul> 
イメージ系	<ul style="list-style-type: none"><li>●空想(人生で心が震えたときおきのシーンを頭の中で再現する)</li><li>●トイレの個室で60秒カウントダウン(頭の中に数字だけをくっきり浮かべる)</li><li>●異世界転生やチートスキルアニメをみて現実逃避する</li><li>●旅行の計画を立てる</li></ul> 
コミュ系	<ul style="list-style-type: none"><li>●がんばったことを家族にアピールしてほめてもらう</li><li>●子どもとすもうをとる</li></ul>
ごほうび系	<ul style="list-style-type: none"><li>●気が進まないことは、目の前におかしをおいて「終わったら食べるぞ」と思いながらやっつける</li><li>●時々のごほうびとしてネットカフェに1日入り浸ってマンガを読みまくる</li></ul>
マイルール系	<ul style="list-style-type: none"><li>●日曜に1週間分の献立を考え、紙に書き出し、作り置きする</li><li>●インスタで作りたい、食べたいレシピを見つけたら保存する</li><li>●歯の裏側にやさしくハブラシを当てることを意識してみがく</li></ul> 
ねこ系	<ul style="list-style-type: none"><li>●猫の肉球にふれてぶにぶに感を堪能する</li><li>●猫の肉球の匂いをかぐ(ほのかな汗臭さがたまらない)</li><li>●猫を抱っこした時の重み、あたたかさを思い出し、エアなでなでする</li><li>●猫を抱いて「世界で一番かわいい。長生きするんだよ」と言い聞かせる</li></ul> 
カツ系	<ul style="list-style-type: none"><li>●泣き活(ナキカツ) キングダム(漫画)を読んでむせび泣く</li><li>●笑活(ワラカツ) チャンスの時間(お笑い)を見て大笑いする</li><li>●飯活(メンカツ) 丸亀製麺の天ぷらを奮発する</li><li>●3つのカツでフックツするのです。なんちゃって</li></ul> 

## [プログラム紹介]



# ありがとう「なでしこ」

うちだ じゅんこ

## ●地域活動支援センター 元 施設長 内田 淳子

今から20年前に地域活動支援センターI型「なでしこ」が開設されました。その頃は社会的入院から地域への退院を進めていく流れの中で、長期入院を経て、退院していく利用者の皆さんの不安は計り知れないものがあったと思います。当時の私は病棟で勤務しており、退院を推進していく立場にありました。開設から11年後に「なでしこ」に異動となりました。退院促進から月日が経ったとはいえ、利用者の皆さんには地域での生活はまだまだ生きにくいことが多いように見えました。そのような中で、活動に工夫を凝らし、活動の場を増やし、利用者の皆さんと一緒に精神障がい者の啓発活動に取り組んできました。季節行事をきっかけに昔話が弾んだり、職員の失敗に笑い合ったりしながら、一緒に活動を作り上げ、デイケアから就労訓練、一般就労へとステップアップしていく方もたくさん見てきました。時には疲れた様子で来られることもあります。話をしながら「また来ます」と帰っていかれます。しばらく来所がない方がいると、利用者さんから心配の声が聞かれるなど、お互いに気遣い合いながら、なでしこは居場所としてだけでなく、疲れたときに羽を休める場所になれたらという思いは今も変わりません。特に、災害時やコロナ禍の食事支援をきっかけに一人暮らしの方への食事支援が定着し、大変なこともありましたが、どれもこれも利用者の皆さんの協力がなければ続かなかったことです。閉所にあたり、元施設長のお二人にもコメントをいただきました。



### 大塚 明美 さま

これまでのスタッフさまがそれぞれのスキルを活かしての対応や、利用者さまが気軽に立ち寄れる場所であったことを思うと大変残念です。私も現在地域の高齢者対象のサロンをやっていますが、これもなでしこさまで学んだ経験が土台にあるからと感謝しています。

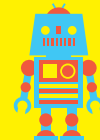
### 須藤 史朗 さま

地域活動支援センターなでしこは、地域の中で安心して過ごせる居場所を目指して開所しました。仲間とともに歩んできた時間はかけがえのない宝物です。多くの笑顔と出会いに支えられ、支援の原点を学びました。閉所は寂しいですが、この経験を胸にこれからも歩み続けます。

長年利用してくださった皆さま、背中を押して送り出してくださったご家族、法人内職員の皆さま、地域の関係者の皆さま、地域住民の皆さまのご理解とご協力により、20年間活動を続けることができました。これまでのご指導・ご協力に心から感謝申し上げます。ありがとうございます。



## Q&A



前回、家族向けのミーティングを教えてもらった見習いロボットのハルくん。今回は、当事者向けのミーティングについて尋ねているみたいですよ。

**ハルくん** 家族向けのミーティング以外にもミーティングがあると聞いたよ？

**心理士さん** 向陽台病院ではたくさんさんのミーティングを行っているのよ。似たような体験をした方のお話を聞いて「自分ひとりじゃないんだ」と勇気を貰えるみたい。スタッフもたくさん教わることがあるわ。

**ワーカーさん** そうそう！「こうやって回復していくんだな」と希望がもてるよね。いろんなミーティング、紹介していきましょう！

### 依存症ミーティング

(毎週火曜日 10:00-11:00)

アルコール・薬物・ギャンブルなど、依存症をどうにかしたいと思っている方が参加できます。テーマはフリーでいろんな話題で話し合います。興味がある方は、主治医の先生にご相談ください。

### 依存症勉強会

(毎週金曜日 10:00-11:00)

依存しない生活をどうやって維持していくか、テキストに沿って一緒に学びます。引き金(トリガー)の理解やセルフケアなどワークを通して考えていきます。出席回数を重ねると表彰され、コーヒーチケットがプレゼントされます。

### 摂食障害ミーティング

(毎週水曜日 15:30-16:00)

拒食や過食、嘔吐など食にまつわる困りごとを抱えている方のためのグループです。通院・入院中の方が対象です。治療の大変さを共有し、ささやかな変化を探していきます。互いの秘密を守ることが参加の条件です。

**心理士さん** まだまだ他にもあるので、続きは次号でお知らせしましょう。

**ハルくん** それまでに、いろんなミーティングの見学をしてみよーっと。

## 私の流儀

●リハビリテーション部 副主任 作業療法士 おかざき みさと 岡崎 美里



物が捨てられず、片付けが苦手。そう自覚しつつ、来客の予定が入るたび「今度こそ片付けよう」と気合いを入れます。ところが現実は思うように進まず、最終的には扉の奥に物を押し込み見なかったことに。なぜか、そういう場所に限って子どもは開けに行ってしまう。

子どもが小学生になり、身の回りの準備を自分でするようになり成長を感じる一方、教科書や筆記用具、体操服があちこちに置かれたままになる事も増えました。朝になると「あれがない」「これがない」と探し物が始まり、気づけば「早く準備しなさい」「昨日から準備していないからでしょ」が私の口癖に。朝からイライラしている私を見ても、子どもの行動は変わりません。そんなある日、夫が子どもとアンガーマネジメントのカードゲームをしながら「母から怒られた時の怒りレベルはどれくらい？」と聞きました。答えは10段階中の「2」。その瞬間は衝撃でしたが、大人と子どもでは感じ方や価値観が大きく違うのだと、改めて気づかされました。

“少しでもイライラを減らしたい”。そう思い、物が散らかりにくい空間を作ろうと動き出しました。分類して収納したり、子どもと一

緒に捨て活に挑戦したり。けれど、使った物は元に戻されず、使っていないように見える物でも「これはいる」と手放せず、なかなかうまくいきません。そんな時に出会ったのが『物を捨てなくても、配置を変えるだけで空間の景色は変わる』という動画です。普段よく使う物だけを動線を意識して手前に、使用頻度の低い物は奥へ移すだけで、処分していないのに物が減ったように感じられ、見せ方を変える事も大事なんだと実感しました。疲れていると、まだまだ散らかってしまうのですが…。スッキリ片付け動画を見てモチベーションを上げ、少しずつ片付けに取り組んでいます。

やる事が多く、時間や気持ちに余裕がない時ほど、イライラしやすく口調も強くなりがちです。仕事中は感情を抑えられても、家ではそうもいかないことがあります。流儀とまでは言えませんが、“自分に合うやり方を見つけ、気持ちの余裕を作る事”は、今の私の生活に欠かせない大切な考え方です。これからも子育てや日常の中でさまざまな課題に直面すると思いますが、怒りの感情につながらないように、自分に合った方法を探しながら、少しでも余裕をもって向き合っていけたらと思っています。

### 向陽台 PICK UP

## 虐待防止委員会の紹介 ～虐待ゼロを目指して～

●看護部 総括師長 あしづか かずよ 芦塚 和代

2022年に「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」の一部が改正され、「何人も、障害者に対し、虐待をしてはならない」と精神科病院における障害者虐待防止に関する措置が規定されました。当院でもマニュアルの作成・研修会など、虐待防止に取り組んでいます。障害者虐待の種類として、次の5つがあります。

- ① 身体的虐待：障害者の身体に外傷が生じ、若しくは生じるおそれのある暴行を加え、又は正当な理由なく障害者の身体を拘束すること
- ② 性的虐待：障害者にわいせつな行為をすること又は障害者にわいせつな行為をさせること
- ③ 心理的虐待：障害者に対する著しい暴言、著しく拒絶的な対応又は不当な差別的言動その他の精神障害者に著しい心理的外傷を与える言動を行うこと
- ④ ネグレクト（放棄・放置）：精神障害者を衰弱させるような著しい減食又は長時間の放置、当該精神科病院において医療を受ける他の精神障害者による①から③までに掲げる行為の放置、その他の業務従事者としての業務を著しく怠ること

⑤ 経済的虐待：精神障害者の財産を不当に処分することその他精神障害者から不当に財産上の利益を得ること

虐待がおきる原因として、●虐待を容認している ●虐待という認識がない（指導、しつけと考えている） ●虐待はいけないと思いつつ行ってしまう ●業務従事者の個人的性格 ●ストレス、業務従事者側に患者への支援のスキルがないなどが挙げられます。

委員会では虐待を防止すること・未然に防ぐため、虐待に関する知識を身につけることはもちろん、感情コントロールの研修も実施しています。研修を通して、日々の行動や発言をいったん立ち止まり、自分だけでなく他職員の行動を振り返り客観的に見る機会になればいいなと思っています。

また、「虐待かな？」と思われる場面を見たり聞いたりした時の相談窓口を設置しています。「あれっ？」と思ったら、互いに声をかけ合えるような職場環境を作るため、今後も活動をしていきます。



# 連携機関

このコーナーでは、向陽台病院の連携医療機関の先生や関連施設の方にご登場いただきます。

第27回



## 熊本県立こころの医療センター

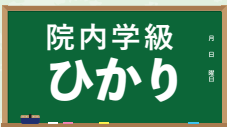
にし よしとも  
院長 西 良知 先生

当院は1954年(昭和29年)3月、熊本県小川再生院から始まり、1975年(昭和50年)11月、熊本県立富合病院として開院し、敷地内移転し1997年(平成9年)4月から熊本県立こころの医療センターとなりました。今年度は富合病院開院から50周年の節目の年です。

私は2018年(平成30年)度の思春期病棟開設に合わせて10年ぶりに当院へ戻りました。2020~2023年(令和2~5年)度には200人を超える新型コロナウイルス感染者の入院を受け入れましたが、私は2023年(令和5年)度に病院長を引き継ぎ多忙な毎日を送っています。そんな中で今年度から貴院の比江島院長に勤務いただけて心から感謝しております。また、おふらいんきゃんぷでは当院職員も楽しく過ごし、くまもと子どものこころ研修会も興味深く参加しています。

当院でもできることから取り組んでおり、自殺予防やハラスメント対策も普段から工夫して続けています。当院はCVPPP研修・トレーナー養成も積極的に行っており、協力して安心・安全を確保していくことが大切と思っています。昨年度は結核病床を再開し、ひきこもり外来・家族支援、アルコール依存の外来・入院集団療法や、思春期・青年期デイケアを開設し、今後は思春期病棟再開も準備することになります。今年度は周産期女性外来を開設し、特定看護師養成や新興感染症対応病床の整備も行いました。初心(初診)を思い出し、継続は力なりという重みも感じますが、誠実に前向きに頑張ろうと思っています。

熊大の東洋医学研究会は良い経験になりましたが、私の田舎暮らしでの癒しは畑づくりに励んで土に触れながらいろんな作物や薬草など育てることでした。環境に優しい協生農法を実践しましたが、収穫前に鳥獣たちによく先を越されました。また、子供の頃から水泳・野球・柔道・弓道など、社会人チームでもサッカーや卓球など続けて心身が鍛えられました。それでも中々思うようにはいかず、人生山あり谷ありと実感させられますが、普段関わる患者さんからも多くを教えられ救われることも多いと感じる日々で、貴院とも連携して精神科医療にできる限り手助けができればと思っています。当院で毎年秋に開催されるお祭り(こころうきうき祭り)では、くまモンが参上して盛り上げてくれます。今後も県立病院の役割を果たしながら、より良い病院にと自然体で常行一直心の思いで精進していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



## 軽やかになる

たかおか ひろし  
● 籐園中学校院内学級 高岡 浩志 先生



籐園中学校院内学級の国語担当となって2年が過ぎようとしている。院内学級は学習より生徒それぞれの体調やコンディションに合わせて授業を行う。最初聞いたとき、少しカルチャーショックを起こした。これまで30数年、40人程の生徒たち相手にいかに自分の授業に惹きつけるか。それだけに腐心してきたと言っても過言ではない。自分にやっていたけるだろうか。不安になったのだ。

「先生、ぜひ『少年の日の思い出』を朗読してください。1年生の時に習ったんですけど、大好きな作品なので」「僕は国語に自信が持てません。どうすればいいですか?」「中原中也の詩をやりたいです」「朗読劇をもう一度やりましょう」ニーズはさまざま。自由だ。肩の力が抜ける。そしてだんだんこの感じが楽しく

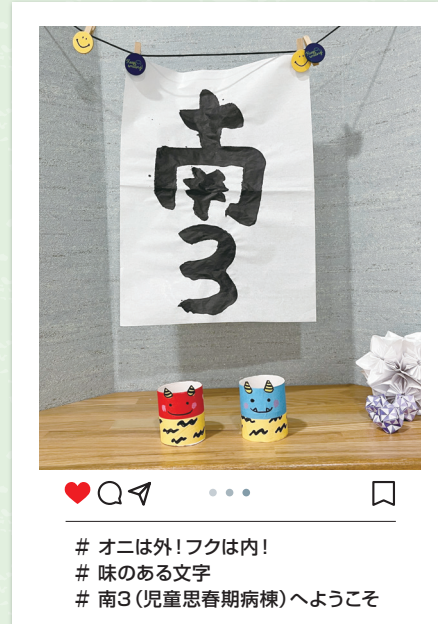
なった。私自身も長年、「授業の型」みたいなものに縛られていたのかもしれない。

一度に教える人数は1人から多くても3人。授業の合間の雑談もとても個人的だ。もう教師面はやめよう。人生を長く生きた者として寄り添うことにしよう。こちらが肩の力を抜いていることが生徒たちにも安心感を与えるように思う。

そういえば新米教師だった時もこんな感じだった。院内学級の教師になったことで、知らず知らずのうちに溜まっていた澱のようなものがきれいさっぱり浚われて、生まれたての赤ちゃんの肌のように清浄化されたのかもしれない。院内学級に来てよかった。心からそう思う。あ、頭は長いこと生まれたての赤ちゃんだけだね!



病院の中の日常の1コマ。写真でパチリ。



### 動向を探る

向陽台病院を利用されている患者さんの2025年12月から2026年2月の動向を掲載しています。

集計月	2025年 12月	2026年 1月	2026年 2月
外来延数	2,779	2,496	2,378
新患者	67	46	52
1か月ごとの入院患者数			
入院	57	46	48
退院	54	50	39

### 編集後記

春ですね! 春といえば新年度を迎える季節。出会いやわかれ、環境の変化でソワソワ? それともワクワク? どちらにしても落ち着かない季節ですよ。そんな時は、満開の桜を愛でるのもいいかもしれません。お花見のおともはやはり団子でしょうか? みなさんのオススメ、教えてください。

さあ、新たな年度のスタートです。院内外に「こもれびファン」が増えますように。今年度のこもれびもどうぞよろしくお願いいたします。

(桶谷聡子)

私たちは「こもれび」とおして、皆さまに役立つ情報をお届けできればと作成しています。皆さまの率直なご意見をお聞かせください。(広報委員会)

## 診察のごあんない (2026年4月現在)

月	火	水	木	金
比江島 (13:30~17:00) [子どものみ]	比江島 (9:30~16:00)	横田(晃) [隔週]	兼氏	武藤
伊藤	田仲	町田	後藤	田仲 (10:00~12:00)
河津	武藤 (9:00~12:00)	戸敷	宮崎 [隔週]	伊藤
	坂本			河崎
	森並			島貫

## 祝日は外来をお休みします

- 診療科目：精神科・心療内科・児童精神科
- 病床数：198床
- 外来診療時間：月～金曜日 9時40分～16時
- 外来休診日：土・日・祝日

※担当医は予告なく変更になる場合がございます

## 初めて受診される方へ

当院は予約制です。初めての方は、地域連携室へお電話ください。☎ 096-272-0908 (初診予約専用ダイヤル)

依存症治療の相談は、代表電話 (096-272-7211) へご連絡ください。

※地域連携室直通 (096-272-5250) は業務用となります。

電話の際、①お名前 ②相談内容 ③連絡先などをおうかがいし、予定の日時を決めます。

当日の所要時間は問診や診察、検査などを含め、2時間程度とお考えください。

## 病院理念

私たち向陽台病院は、地域医療のなかで安全で効果的な精神科医療を提供するために、職員の知恵を結集し、迅速かつ包容力のある対応ができる病院を目指します。

## 患者さんの権利

1. 良質な医療サービスを平等に受ける権利があります。
2. 人格・意思が尊重され、人間としての尊厳を守られる権利があります。
3. 自分自身の診療に関する情報の提供を受ける権利があります。
4. 医療従事者から説明を受けた後に、提案された診療計画などを自分で決定する権利があります。  
また、他の医療機関の医師の意見(セカンド・オピニオン)を求める権利があります。
5. プライバシーを尊重される権利があります。

## 交通アクセス

🚌【産交バス】向坂バス停から徒歩3分 投刀塚バス停から徒歩3分

🚗【車】植木ICから15分 北熊本スマートICから10分

🚗【JR】植木駅下車 → タクシーで6分



## 医療法人横田会 向陽台病院

熊本県熊本市北区植木町鐙田1025 tel.096-272-7211



当院は「情報公開レベル優良施設」として、はとはあと評価(認定3/Stage-1)の第三者評価認定を受けています。



当院は、2005年から財団法人日本医療機能評価機構の認定を受け、2025年7月に3rdG:ver3.0で再認定されました。

- 日本精神神経学会 専門医研修指定病院
- 子どものこころ専門医 研修施設
- 日本精神科救急学会 認定医制度認定施設
- 熊本県依存症専門医療機関
- 熊本県依存症治療拠点機関



上のQRコードをQRコード対応携帯で読み込むと向陽台病院サイトにアクセスできます。